

論文審査の結果の要旨

論文提出者氏名 高野 誠二

本論文は、都市の中心部における鉄道駅の持つ重要性を、駅周辺地区と伝統的な中心街との関係に着目して、実証的に明らかにしたものである。都市地理学においては、都市の中心部における鉄道駅の重要性に関する研究は、これまではきわめて僅かであり、しかも断片的なものにとどまっていた。その理由は、第1に、海外の多くの都市では、中心部における伝統的な中心街に比べて駅周辺地区が果たす役割が一般に小さかったことである。そして第2に、日本の多くの都市では、駅周辺地区が伝統的な中心街に匹敵するかあるいは後者を凌駕することがいわば自明のこととされており、あらためて研究の対象にされてこなかったことである。たとえば、海外及び日本の都市の中心部に関する研究には、中心部と郊外との比較や両者の競合に関するものが多く見られるが、中心部の内部での駅周辺地区と伝統的な中心街とは一括して扱われており、両者の関係は十分に論じられてはこなかったのである。このような状況に鑑み、この研究課題に取り組んだ本論文の意義は高く評価される。

本論文は7章から成る。第1章は、研究展望を含む研究方法の提示である。ここでは、都市の中心部に関する先行研究を整理しつつ、従来の研究では十分に扱われていなかった鉄道駅及び駅周辺地区に着目してその重要性を指摘し、伝統的な中心街との関係とその変化、そしてそれらとの関係において都市の整備事業を再検討するという、独自の研究視角を提示した。

第2章及び第3章では、日本の都市を対象として多くの統計的データに基づいて包括的に分析した。まず第2章では、多くの都市を対象として、位置、人口規模、及び歴史的背景によって分類し、駅と中心街との距離、土地利用、大型店の立地、市街地再開発事業の実施状況などを、これらの都市カテゴリーと対比させることにより、都市の中心部における駅周辺地区の重要性を実証的に明らかにした。そして第3章では、前章で対象とした都市の中から人口規模の大きい都市を選んで、特に駅周辺地区と伝統的な中心街との競合関係に重点を置いてより詳細に分析し、一般的に駅周辺地区の重要性が増してゆく傾向を明らかにするとともに、各都市の中心部の個別の動向が鉄道駅との関係で説明し得ることを示した。

第4章は、鉄道駅と直接関係する都市整備事業について、鉄道による市街地分断との関係で論じており、海外においてしばしば論じられている鉄道による市街地分断の問題について整理するとともに、特に日本を事例にして、構内横断自由通路などを中心とする駅の表側と裏側との関係に重点を置いて分析した。

第5章及び第6章は、前章までの分析結果を踏まえて、八王子の中心部の都市整備事業を事例として、詳細な現地調査及び資料調査に基づいて論じたものである。まず第5章では、自治体や商工会議所などの各主体の相互関係に着目しつつ、特に駅周辺地区と伝統的な中心街との競合関係に重点を置いて論じた。続く第6章では、駅周辺地区での整備事業における自治体と鉄道事業者との間の利害の対立とその調整の過程を詳細に分析することにより、都市の整備事業における鉄道駅の重要性を具体的に明らかにした。そして最後の第7章では、結論として、これまでの各章において得られた知見を整理した。

以上のように本論文は、都市の中心部における鉄道駅及び駅周辺地区の役割とその重要性について、包括的・統計的な分析と事例研究の両面から詳細に分析することにより、都市地理学に新たな知見を提供し、多大な寄与をなしたと評価出来る。したがって、本審査委員会は博士（学術）の学位を授与するにふさわしいものと認定する。